

やま だ

山田だいすけ



～北九州の今と未来をみんなと語る～

山田だいすけレポート (令和8年 春号)

令和8年4月29日発行

令和8年2月議会のご報告

令和8年2月議会は、2月19日に開会し、3月25日までの35日間にわたって行われました。

今回の議会では、令和8年度当初予算案の審査が大きな柱となり、北九州市がこれからどこに力を入れていくのか、その方向性が示され、一般会計予算案は6,477億円で過去最大規模となり、今の暮らしを支える施策と、未来への投資の両立が問われる議会となりました。私は一般質疑で、「地域防災能力の向上」と「アーバンスポーツの聖地化」の2つを取り上げ、市民生活に身近な課題と、北九州の新しい可能性の両面から議論を行いました。

- ・北九州市は今後、災害にどのように備えるのか。
- ・子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる地域をどうつくるのか。
- ・若い世代の挑戦や、まちのにぎわいをどう広げていくのか。



こうしたテーマは、一見すると別々の話に見えるかもしれませんが、どれも北九州のこれからを考えるうえで欠かすことのできない大切な課題です。私は、「現場」で見て、聞いて、感じたことを、議会の場での提案や質問し皆さんの生活に繋げることを何より大切にしています。机の上の資料だけでは見えないこと、数字だけでは伝わらないこと、現場・地域に足を運んではじめて見えてくる課題や可能性があります。だからこそ今回も、“いま必要なこと”と“これから育てていくべきこと”の両方を意識しながら議会に臨みました。防災は、いざという時に命と暮らしを守るための土台です。一方で、若い世代の挑戦を応援し、北九州の魅力や活気につなげていくことも、このまちの未来にとってとても重要です。今の安心、これからの希望と、その両方をどのように形にしていくのが、今回の議会全体を通じた大きなテーマだったと感じています。このレポートでは、新年度予算のポイント、一般質問で取り上げた内容、そして12月議会後から2月議会までの主な活動について、できるだけわかりやすくご報告します。議会で何が話し合われ、私がどんな思いで質問し、どんな課題意識を持って取り組んできたのかを、少しでも身近に感じていただければうれしく思います。市政は遠いものではなく、毎日の暮らしの延長線上にあります。これからも現場の声を大切にしながら、「会える市議会議員」として、北九州市の皆さんと今と未来を一緒に考えていきたいと思えます。

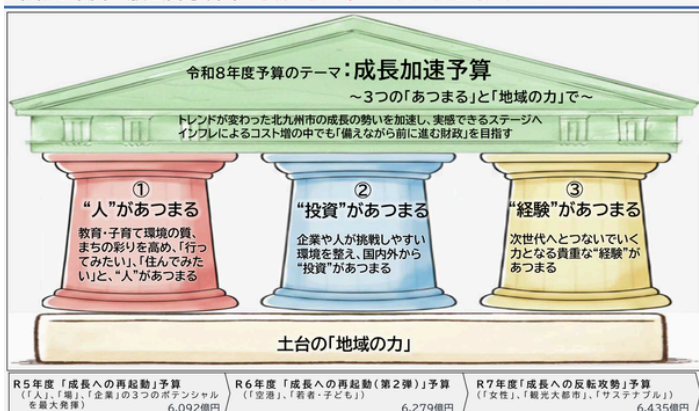


【この号の見どころ】

- ・過去最大となった令和8年度予算のポイント
- ・一般質疑「地域防災能力の向上」
- ・一般質疑「アーバンスポーツの聖地化」
- ・12月議会後から2月議会までの現場活動
- ・部活動の地域展開に関する勉強会の取り組み
- ・5月30日に開催する市政報告会のお知らせ

を掲載しています。議会を少しでも身近に感じていただけると幸いです。

令和8年度一般会計予算案 予算規模 6,477億円(過去最大)





～新年度予算から見える北九州のこれから～

【令和8年度予算はどう編成されたのか】

令和8年度当初予算案のテーマは、「成長加速予算～3つの『あつまる』と『地域の力』で～」です。一般会計は6,477億円で、前年度より42億円増え、過去最大の規模となりました。市は、これまで動き出してきた「人」「投資」「経験」の流れを

さらに加速させ、北九州の成長の勢いを市民が実感できる段階へつなげていく考えを示しています。一方で福祉・医療関係経費の増加、人件費の上昇、公債費の伸び、物価高の影響など、財政を押し上げる要因も大きくなっています。私は、こうした数字の背景にあるのは、市民の暮らしを支える責任の重さだと受け止めています。今の暮らしを守るために必要な支えを確保しながら、未来への投資も止めない。その両方をどう両立するかが、今回の予算を読み解くうえで最も大切なポイントだと考えています。

1 予算規模

令和8年度予算は、 6,477億円 (前年度比 +42億円、+0.7%)	過去最大
〔増要因〕	
●福祉医療関係経費の増加 +106億円(増額福祉サービスなど)	●北九州市未来のまちづくり投資基金)積立金(※前年度のような基金積立がないため) ▲200億円
●賃上げ基調を踏まえた人事委員会の勧告に基づく給与改定等 +43億円	
●公債費の伸び +14億円(主に金利の上昇)	
●物価高の影響 学校、保育、こみ処理関連等で+14億円	
〔減要因〕	
〔参考〕北九州市未来のまちづくり投資基金)積立金の減の影響を除くと、前年度比+242億円、+3.8%	

2 歳入・歳出の概要

〔歳入〕(主なもの)	〔歳出〕(主なもの)
市税等の一般財源は、前年度に比べ 88億円 の増加 3,189億円(前年度比+88億円、+2.8%)	●人件費 1,181億円 (前年度比+82億円、+7.4%) ※うち退職手当による増加分を除くと前年度比+43億円
●市税 1,925億円 で過去最高額を見込む (前年度比+40億円、+2.1%)	●扶助費 1,841億円 (前年度比+92億円、+5.3%)
●県税交付金 361億円 (前年度比+16億円、+4.6%) ※法人庁削減)環境性能向上の促進による影響額 ▲39億円	●公債費 694億円 (前年度比+14億円、+2.0%)
●地方交付税 916億円 (前年度比+91億円、+11.0%) ※臨時財政対策債償還基金(※1)を除くと825億円(前年度内額)	●投資的経費 644億円 (前年度比+2億円、+0.3%) 2月補正分を含む。適正水準(650億円/年)の範囲内。
●公営競技事業会計の収益金の活用 75億円 (前年度比+25億円、+50%)	
●財源調整用基金の活用 152億円 (前年度151億円)	

3 市債発行額・残高

●市債発行額 375億円 (前年度比▲12億円、▲3.1%)
●市債残高 8,030億円 (前年度比▲15億円、▲0.2%)

4 次世代投資枠

●105億円
※令和6～令和8年度の3か年で357億円(目標額である330億円を確保)

(※1)臨時財政対策債償還基金：臨時財政対策債の将来の償還のために交付されるもの。全額、公債償還基金へ積み立てを行う。

【子育て・教育への支援】

今回の予算では、子育てや教育の分野にも大きな力が入れられています。学びの質向上パッケージでは、小学校給食費の無償化、AIを活用した学び、読書環境の整備、学校体育館へのエアコン設置の本格化などが盛り込まれました。また、第2子以降の保育料完全無償化や5歳児健診モデル事業など、子どもの成長を支える施策も新たに打ち出されています。子どもたちが安心して学び、保護者が将来に希望を持てる環境をどう整えるかは、北九州の未来そのものに関わるテーマです。私は、子育て支援は単なる“負担軽減”にとどまらず、子どもたちが夢を持って育ち、保護者がこのまちで暮らし続けたいと思える環境づくりにつながるものだと考えています。子どもを真ん中に据えた施策が、実際に家庭の安心や地域の元気につながるのかを、これからも丁寧に見ていきます。

重点テーマ①

“人”があつまる

教育・子育て環境の質、まちの彩りを高め、「行ってみたい」、「住んでみたい」と、“人”があつまる

(1) 未来の人材を育むまちへ

- ①(新)学びの質向上パッケージ 5,796百万円(※2月補正含む)
「北九州市に來たい、住み続けたい」と思えるよう、小学校給食の無償化やAIを活用した学び、読書環境の整備などの取組をパッケージとして展開し、まちの未来の主役となる子どもたちの教育環境を集中的にグレードアップする。
〔令和8年度からスタートする取組〕
給食 学校体育館エアコン 学校体育館エアコン)設置を本格的に開始。メイトの取組と、いつでもどこでもいしん(栄養豊富なメニュー)で子ども 季節を問わず活動できる環境を整備。今後、 たちの健やかな成長を支え、 全ての市立学校への設置を目指す。
- ②(新)次世代デジタル人材育成支援事業 1,116百万円
北九州市立大学において、「情報イノベーション学部(仮称)」を開設し、デジタル社会のリーダーとして活躍する次世代人材を育成するため、理工系の先端的な教育が受けられる環境をつくる。

(2) 子育て環境日本一のまちへ

- ③(新)第2子以降の保育料「完全」無償化 169百万円
「女性の選択が増え、望む選択ができるまち」を目指し、政令で初めて、保育の必要性や施設の種類を問わず、定期的に通う第2子以降の「すべて」のこどもの保育料を「完全」無償化。
- ④(拡)医療的ケア児の支援強化 214百万円
医療的ケア児の保護者の負担軽減を図るため、在宅等の訪問看護の年間利用時間を拡充するとともに、医療的ケア児が安心して過ごせる環境を整えるため、学校や保育所に看護師等を配置。
- ⑤(新)5歳児健診モデル事業 10百万円
こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図るため、5歳児健診モデル事業を実施。

(3) 観光大都市への進化

- ⑥(新)おもしろフェスティバルの魅力を発信する事業 63百万円
国内外から人を呼び込むイベントの開催や、市民主体の文化芸術活動を通じて、誰もが表現者・参加者として楽しめる新たなステージの創出を図る。
- ⑦(拡)数とアートのステージ創出事業 28百万円
門司港レトロや小倉城などの観光地の魅力向上や受入環境の充実、体験・エンタメ型観光の創出、効果的な情報発信により、訪れる人をおもてなす環境を実現し、来訪者の周遊を促進。
- ⑧(新)ウェルカム・キタキュウシユウ事業 242百万円

【まちの魅力と成長への投資】

新年度予算では、空港機能の強化や観光振興、企業投資を呼び込むための施策にも重点が置かれています。北九州空港の利用促進や物流拠点化、小倉・黒崎など都心部の価値向上、観光地の受入環境の充実などが位置づけられており、「行ってみたい」「住んでみたい」「働いてみたい」と思ってもらえる“まち”をどうつくるかが問われています。私は、成長とは単に数字を伸ばすことではなく、市民の皆さんが“このまちに前向きな変化が出てきた”と実感できることだと思っています。空港、観光、企業誘致、都心部のにぎわいづくりを、それぞれ単独で進めるのではなく、北九州全体の魅力を高める流れとしてどうつなげていくか？その成果が、雇用や交流、地域のにぎわいとして市民生活に返ってくるのかを、しっかり見ていきたいと思えます。

重点テーマ②

“投資”があつまる

企業や人が挑戦しやすい環境を整え、国内外から“投資”があつまる

(1) 民間投資・企業集積の促進

- ①(拡)小倉・黒崎ブースト)大仕数 645百万円
「小倉・黒崎)エリアに民間投資を呼び込み、次世代のまちづくりを展開。公共空間の再編に向けた官民連携のプロジェクトの検討)試行を加速させ、エリアの価値向上を図る。
- ②(拡)サステナブルシティ推進事業 91百万円
市民と産学官が参画する共創機関「リタラボ」を設置し、社会課題の解決)取り組むとともに、国内外におけるプレゼンスの向上を図り、「世界をリードするサステナブルシティ」の実現を目指す。
- ③(新)小倉デジタル城下町)推進事業 42百万円
小倉都心部にIT企業が集積する流れを加速し、全国的なブランド性を確立する。
- ④(新)民間投資インセンティブの拡充(税制措置)
一定の基準を満たす産業用地等に係る固定資産税を最大6年度免除するインセンティブを創設することで、民間投資を強力に後押しし、民間による産業用地整備と地域経済への還元を行う企業立地を促進。

(2) 都市基盤の整備

- ⑤(新)旦過)折尾次世代まちづくりプロジェクト 6,227百万円(※特別会計含む)
旦過)折尾地区のポテンシャルを活かした総合的な再整備事業により、市内外から人が投資が集まる魅力的なまちをつくる。
- ⑥ 道路ネットワーク整備の推進 3,701百万円
主要な街道)道路事業を重点的かつ速やかに整備し、物流ネットワークの機能強化、地域間の連携)交流促進、市内の渋滞対策を実施。
- ⑦ 洋上風力の産業ハブ展開集積プロジェクト 307百万円
洋上風力の稼働をテコに、企業誘致活動やブランド向上により、洋上風力の保守点検等を行う企業の新規参入及び既存企業の事業領域拡大の支援を実施。

開港20周年を迎えた北九州空港)リユースアクション【九州唯一の24時間空港の自由と可能性を活かし、需要を呼び込む】

- ★チャレンジコンセプト
【旅客】東アジアとその先へ(国際)ローカルtoローカル(国内)
【貨物】滑走路3,000m化を推進 攻めの物流拠点化
- ⑧(拡)北九州フライトネットワーク拡充事業 218百万円
開港20周年を機にチャーター便誘致や台北線再開を強力に推進し、世界へと広がる空のネットワークを構築することで、新たな“ヒト”の流れを生み出し、まちの魅力を創出する。
- ⑨(拡)北九州グローバルエアロスペース拠点の構築 1,592百万円
滑走路3,000m化を1年後に控え、グローバルに拡大する24時間空港のポテンシャルを引き出す物流拠点を構築し、新たな“モノ”の流れを呼び込むことで)稼げるまちの実現を加速させる。

【議会で取り上げた2つのテーマ】



◎地域防災能力の向上について

今回の一般質疑では、「地域防災能力の向上について」を取り上げました。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、発災してから対応するのではなく、平時から備えを積み重ねることが重要



です。私は、避難所運営のあり方、防災士などの地域人材の連携、要配慮者支援、地域で支え合う体制づくりなど、実際に役立つ防災の仕組みを

“どうつくるか”という視点で質問しました。行政だけに任せるのではなく、地域、事業者、市民がそれぞれの役割を持ち、いざという時に動ける体制を整えていく必要があります。輪島市での現地確認や防災リーダー合同研修を通じて強く感じたのは、災害時に本当に力になるのは、日頃からのつながりと準備だということです。防災は、特別な時だけ考えるものではなく、普段の地域づくりの延長線上にある。私はその思いで、地域防災力の底上げを議会で訴えました。今年度は防災士の資格を取りたいと考えています。



◎アーバンスポーツの聖地化について

二つ目の質問項目として、「アーバンスポーツの聖地化について」も取り上げました。アーバンスポーツは、若い世代の挑戦の場であると同時に、北九州の新しい魅力づくりにもつながる可能性を持っています。単発のイベントで終わらせるのではなく、継続的に大会や催しが行われるための仕組みづくり、安全対策、民間との連携、関係部局の体制について議会で質しました。大切なのは、競技そのものだけではなく、見る人、支える人、地域の皆さんと一緒に関われる形に広げていくことです。若者の挑戦がまちのにぎわいにつながり、その熱量が北九州の新しい魅力になる。私は、そんな前向きな循環をこのまちでつくりたいと思っています。名古屋での視察で感じた可能性も踏まえながら、北九州らしい官民連携したアーバンスポーツの育て方を、



これからも具体的に提案していきます。



【部活動の地域展開に関する勉強会】

昨年9月から部活動の地域展開が部分的に始まりました。皆様からは「部活は無くなるの?」という声を多くいただきます。教育委員会も「令和9年の9月から土日祝日の部活動の地域展開は行う。平日の部活動は継続する。」と言っていますが皆様にきちんと伝わっていないのが現状です。中学校部活動の地域展開は、教員の負担軽減という視点だけでなく、子どもたちの活動の場や成長の機会をどう守っていくのかという大切な課題です。私はこのテーマを、北九州の将来に関わる重要な議題の一つとして捉え、議会内で勉強会を発起人として始めました。ありがたいことに、北九州市議会57名のうち51名の議員が参加の意思を表明してくだ



さり、会派を超えて学び合う流れが生まれています。子どもたちが安心してスポーツや文化活動に取り組める環境をどう整えるのか。地域、学校、行政が連携しながら、北九州市に合った持続可能な仕組みをつくっていくことが大切です。子どもたちの居場所や挑戦の機会を守ることは、地域の未来を守ることもあります。このテーマについて、議会全体で正しい知識を身につけ、共通の課題感を持った時にこそ、子どもたちや先生方の想いをのせることができるのではないかと考えています。



防災・安全について学び、備える



12月末に輪島市で被災地支援活動と現地確認を行い、災害時に本当に必要な支えを改めて考える機会となりました。1月には防災リーダー合同研修にも参加し、地域の防災力を高めるには、平時か



ら顔の見える関係を築くことが大切だと学びました。現場で得た気づきを、防災や安全安心のまちづくりに生かしていきます。



福祉・共生を身近に考える

ウエル戸畑を訪れ、視覚障害の体験研修を行いました。また、2月23日には「GUCHIだけ



では終わらせない！フェス」を視察し、生理痛体験も行いました。実際に体験することで、言葉だけでは分からない不便さや配慮の必要性を改めて感じました。これからも相手の立場を知ることが大切にし、誰も取り残されない北九州を目指して取り組みます。



交通・移動の課題を現場で確認



1月15日に北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会で北九州空港を視察し、1月24日には福祉有償運送運転協力者研修を受講しました。空港の機能強化は北九州市の成長に欠かせず、一方で通院や買い物など日々の移動を支える仕組みも重要で



す。広域交通と生活交通の両面から、交通の課題を見つめていきます。

地域の声、若者の挑戦の場へ



各地域の餅つきやバグー大会などに参加し、日々の暮らしの中にある声を伺ってきました。また、自転車競技チーム「北九州Duckbills」の練習課題の確認や、名古屋での1on1大会視察を通じて、若者やスポー



ツの現場にも触れてきました。地域のつながりも若い世代の挑戦も、どちらも北九州の大切な力です。現場の熱量を、市政の後押しにつなげていきます。

市政報告会を開催します!!

令和8年2月議会の内容や、今年度予算のポイント、一般質問で取り上げた防災やアーバンスポーツについて、皆さまにわかりやすくお伝えする市政報告会を開催します。

とき 5月30日(土) 15:00~16:30

ところ 清水市民センター大会議室

- ◎議会で何が話し合われたのか？
- ◎予算が暮らしにどう関わるのか？
- ◎現場でどんな声を聞き、何を議会につないできたのか？

身近な言葉で、率直にお話ししたいと思っています。

議会をもっと身近に感じていただく機会になればと思いますので、ぜひお気軽にお越しください。



本号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。市政の課題は、現場に出ることでよりはっきり見えてきます。防災、交通、福祉、子どもや若者の挑戦の場づくりなど、どのテーマも日々の暮らしの延長線上にあります。これからも、一つひとつの声に耳を傾けながら、市民の皆さんの暮らしに身近な課題を丁寧に議会へ届けてまいります。すぐに変えられることは着実に前へ。時間のかかる課題は粘り強く。その積み重ねを大切にしながら、これからも北九州の今と未来を、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



会える!!
市議会議員に

北九州市議会議員
山田だいすけ事務所

☎093-482-3907

✉ daisukeyamada0728@gmail.com 🌐 www.daisukeyamada0728.com

山田 だいすけ 🔍

〒803-0841 北九州市小倉北区清水3丁目10-17-101(メゾンドアルタス清水)